# 第１学年３組　算数科学習指導案

**１　題材名**

たしざんとひきざん

**２　本時の学習指導**（１/２時）

(１)目標

「何十」＋「何十」の計算や、二位数と一位数の加法(くり上げ無し)の計算をすることができる。

(数学的な考え方)

(２)展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 問題場面  赤い　おりがみが　40まいと、　青い　おりがみが　30まい　あります。  ぜんぶで　なんまい　あるでしょう。  １、問題場面を読み、全部の枚数を求める式を立てる。  C1足し算です。  C2何故足し算かというと、「ぜんぶで」と書いてあるからです。  ２、40＋30の計算の仕方を考える。  　C1算数セットを使って、10のまとまりを4つと３つ合わせて７つで70です。  　C2ノートに図を書き入れました。  　　10 10 10 10 10 10 10  ３、考え方を発表する。  C1どちらの考えも10のまとまりを使っている。  C2どちらの計算も4＋3＝7となっている。  まとめ  30＋40も、3＋4をもとにすればけいさんできます。  ４、本時のまとめをする。  ５、鉛筆１、２の問題を解く。 | 〇授業の前に算数セットを準備させておく。  ○足し算にする理由を考察し、全部の問題を求めるから足し算になるということを、児童に説明させる。  ○算数セット(具体物)を使って計算の仕方を考える。  評タイルを使って「何十」＋「何十」の計算の仕方を10の単位として考える。  ○答えが70になることを確認する。  ○それぞれの考えを認めたうえで、10の単位とすれば、4個分と3個分を合わせることになるので、既習の加法(4＋3)で簡単に計算できることを抑える。  ○「何十」＋「何十」の計算の仕方も、今までと同じように出来ることを確認する。  ○終わった児童から手を挙げて、教師が丸付けをする。それも終わった児童は、教師が指定した箇所の計算ドリルをする。 | １０‘  １５‘  ５‘  ５‘  １０‘ |

**３ 板書計画**

　(しき)40＋30

たしざんとひきざん

かんがえかた

赤い　おりがみが　40まいと、青い　おりがみが　30まい　あります。

ぜんぶで　なんまい　あるでしょう。

10

10

10

10

10

10

10

ぜんぶでだからたしざん

どれも10のたばでかんがえている。

どれも4＋3のけいさん。

ま

30＋40も、3＋4をすればけいさんできます。

**４　備考**　在籍児童数　３４名